

2022年度 第2四半期 決算説明会

2022年(令和4年)11月25日



ネツレンのご紹介①

ネツレンは1946年、わが国で初めてIH(誘導加熱)技術の事業化・工業化に成功したパイオニア企業です。創業以来蓄積されたIH(誘導加熱)技術の中核とし、金属製品の製造と受託加工、装置販売の事業展開をしています。

商号	高周波熱錬株式会社(ネツレン)
所在地	東京都品川区東五反田二丁目17番1号 オーバルコート大崎マークウエスト
設立	1946年(昭和21年)5月15日(現社名)
資本金	64億18百万円
売上高 (2021年度)	連結:530億04百万円 単独:325億04百万円
従業員数 (2022年9月末現在)	連結:1,622名 単独917名
上場金融商品 取引所	東京証券取引所 プライム市場 証券コード:5976



代表取締役社長執行役員
大宮 克己

ネツレンのご紹介②

ネツレン国内事業所一覧

- ① いわき工場 ② 茨城工場 ③ 本社 ④ 人財育成センター
- ⑤ 湘南事業所・平塚工場 ⑥ 可児工場・可児NH工場 ⑦ 名古屋工場
- ⑧ 刈谷工場 ⑨ 製品事業部大阪営業所 ⑩ 尼崎工場 ⑪ 神戸工場
- ⑫ 赤穂工場 ⑬ 岡山工場



ネツレングループ

国内10社 26拠点 海外6カ国 15社16拠点 (2022年9月30日現在)



ネツレンのご紹介③

事業区分	主な製品・サービス
製品事業 関連事業	高強度鋼材製品 ・PC鋼棒関連製品 ・高強度せん断補強筋 ・高強度ばね鋼線ITW® 一貫加工部品 ・中空ラックバー ・旋回輪(建設機械部品)
IH事業 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置・サービス
その他	賃貸事業ほか

高強度鋼材製品

建築



土木



自動車



一貫加工部品

中空ラックバー(自動車)



インナーチューブ(2輪車)



旋回輪(建設機械)




熱処理受託加工

自動車



建設機械



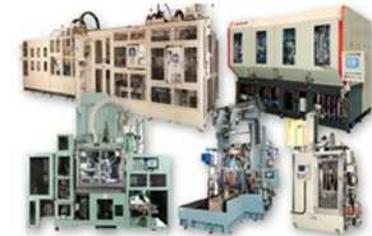
産業・工作機械



誘導加熱装置

高周波焼入設備

高周波電源



目次

- I. 2022年度 第2四半期 決算の概要
- II. 経営実績の推移
- III. 第15次中期経営計画の進捗
- IV. 成長戦略



目次

- I. 2022年度 第2四半期 決算の概要
- II. 経営実績の推移
- III. 第15次中期経営計画の進捗
- IV. 成長戦略



1. 2022年度 第2四半期 連結決算の概要

- 連結売上高は、鋼材等のコスト増分の販売価格への転嫁、円安影響により前期比14.2%増収
- 営業利益は、自動車メーカーの減産による生産性低下、鋼材・電力費等のコスト増の影響を受け、前期比23.8%減益

(単位:百万円)

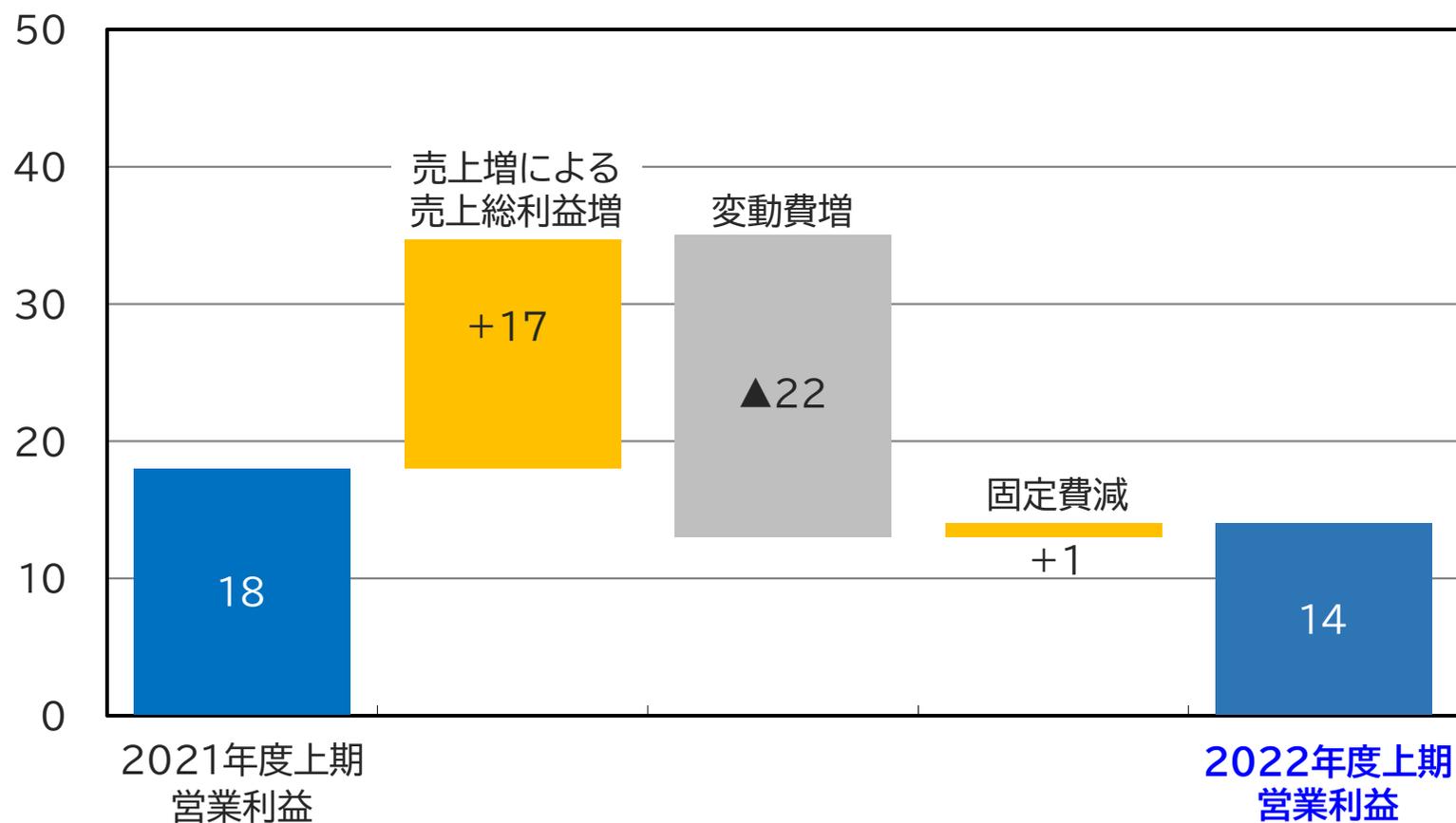
	2021年度 上期	2022年度 上期	増 減	増減率	2022年度 通期予想
売上高	24,390	27,859	3,469	14.2%	60,000
営業利益	1,829	1,393	▲436	▲23.8%	3,600
経常利益	2,146	2,030	▲115	▲5.4%	4,200
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,357	1,221	▲135	▲10.0%	2,400

(注)換算レート 上期 : 1中国元=20.38円、1USドル=136.68円(2022年6月末)
通期予想 : 1中国元=20.37円、1USドル=144.81円(2022年9月末)

2. 連結営業利益の増減要因

- 鋼材等のコスト増分の販売価格への転嫁や円安影響などによる増収効果で増加するも、主として材料費や電力費などの変動費増加要因により減少

(単位:億円)



3. 営業外・特別損益の主な内訳

- 主として為替差益の増額により、営業利益に比べて経常利益の減益幅が縮小
- 特別損益については、特筆すべき事項なし

(単位:百万円)

項目	2021年度 上期	2022年度 上期	増 減	補足
営業利益	1,829	1,393	▲436	
為替差益	9	303	293	急激な為替相場の変動による影響
スクラップ売却益	75	92	17	スクラップ相場による影響
その他営業外損益 (ネット表示)	232	242	9	受取利息・配当金、持分法 投資利益、支払利息など
営業外損益合計	348	671	323	
経常利益	2,146	2,030	▲115	

4. セグメント情報(連結売上高)

- 製品事業部関連: 自動車関連は海外を中心に鋼材等コスト増分の販売価格への転嫁、為替影響により大幅増収。建設機械、建築関連は販売量増、販価改定により増収
- IH事業部関連(受託加工): 自動車関連は半導体不足による減産により大幅減収、受注堅調な建設機械・工作機械向けで挽回するには至らず
- IH事業部関連(装置関連): 設備投資需要は国内、海外ともに堅調に推移し、増収

(単位:百万円)

事業区分	2021年度 上期	2022年度 上期	増 減	増減率
製 品 事 業 部 関 連 事 業 部	14,345	17,722	3,377	23.5%
I H 事 業 部 関 連 事 業 部	9,979	10,067	87	0.9%
そ の 他	65	69	4	6.9%
合 計	24,390	27,859	3,469	14.2%

5. セグメント情報(連結営業利益)

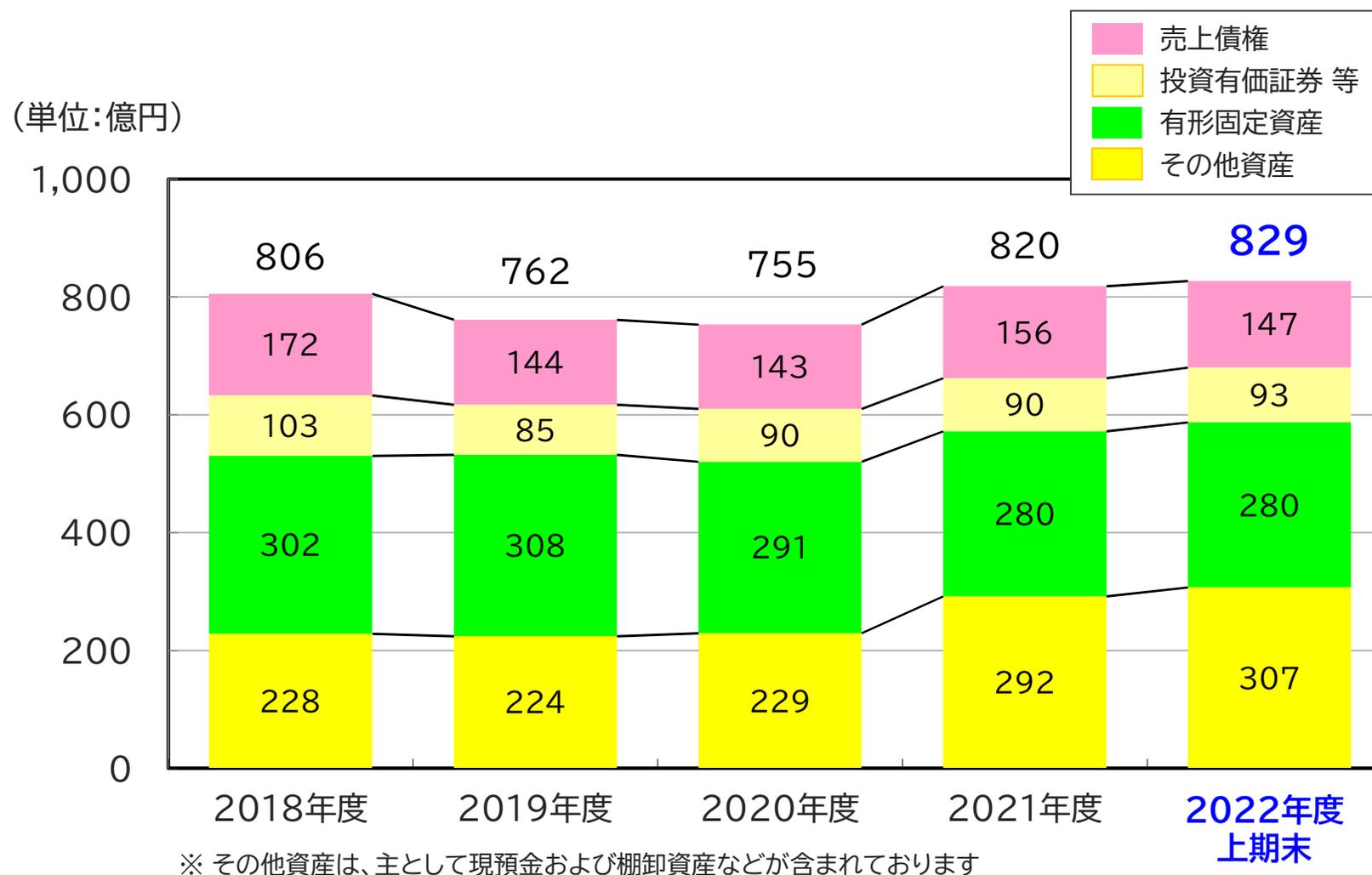
- 製品事業部関連:販売量は増加するも、鋼材・電力費等のコスト増分の販価改定遅れにより減益。
販価改定は建築関連を除き進む
- IH事業部関連 : 主力の自動車向け顧客の断続的な稼働停止による生産性低下に加え、
電力費などのコスト増により減益

(単位:百万円)

事業区分	2021年度 上期	2022年度 上期	増 減	増減率
製 品 事 業 部 関 連 事 業 部	691	570	▲120	▲17.5%
I H 事 業 部 関 連 事 業 部	1,108	792	▲316	▲28.5%
そ の 他	26	27	1	4.4%
セ グ メ ン ト 間 取 引 消 去	2	2	▲0	▲0.2%
合 計	1,829	1,393	▲436	▲23.9%

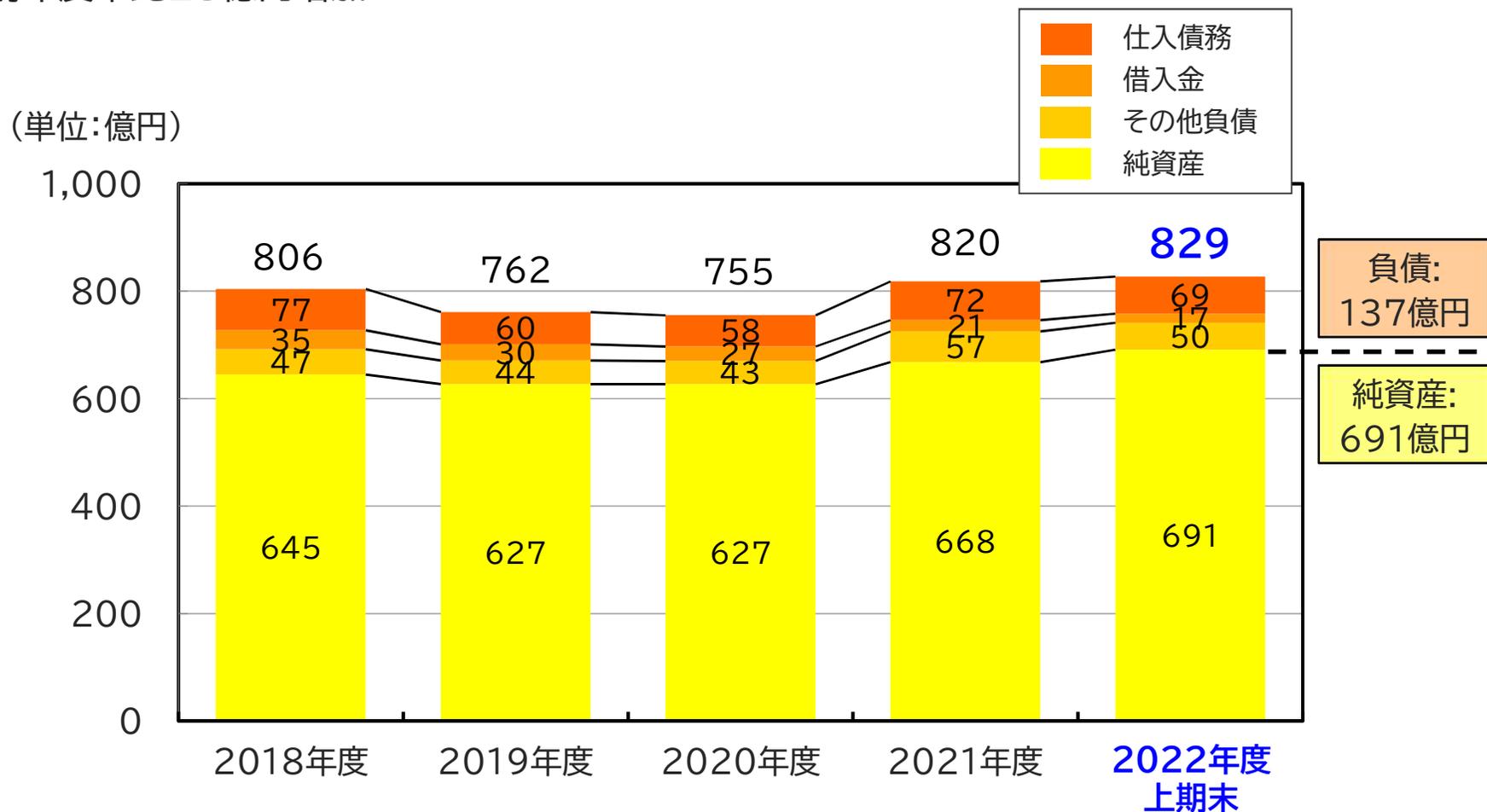
6. 資産残高の推移(連結)

- 総資産は、自己株式の積極的な取得で現預金が減少、棚卸資産の増加などで前期末比9億円増加



7. 負債・純資産残高の推移(連結)

- 負債は、未払法人税等や長期借入金が減少し、前年度末比13億円減少
- 純資産は、積極的な自己株式取得を実施も、急激な円安により為替換算調整勘定が増加し、前年度末比23億円増加



8. キャッシュ・フロー(連結)

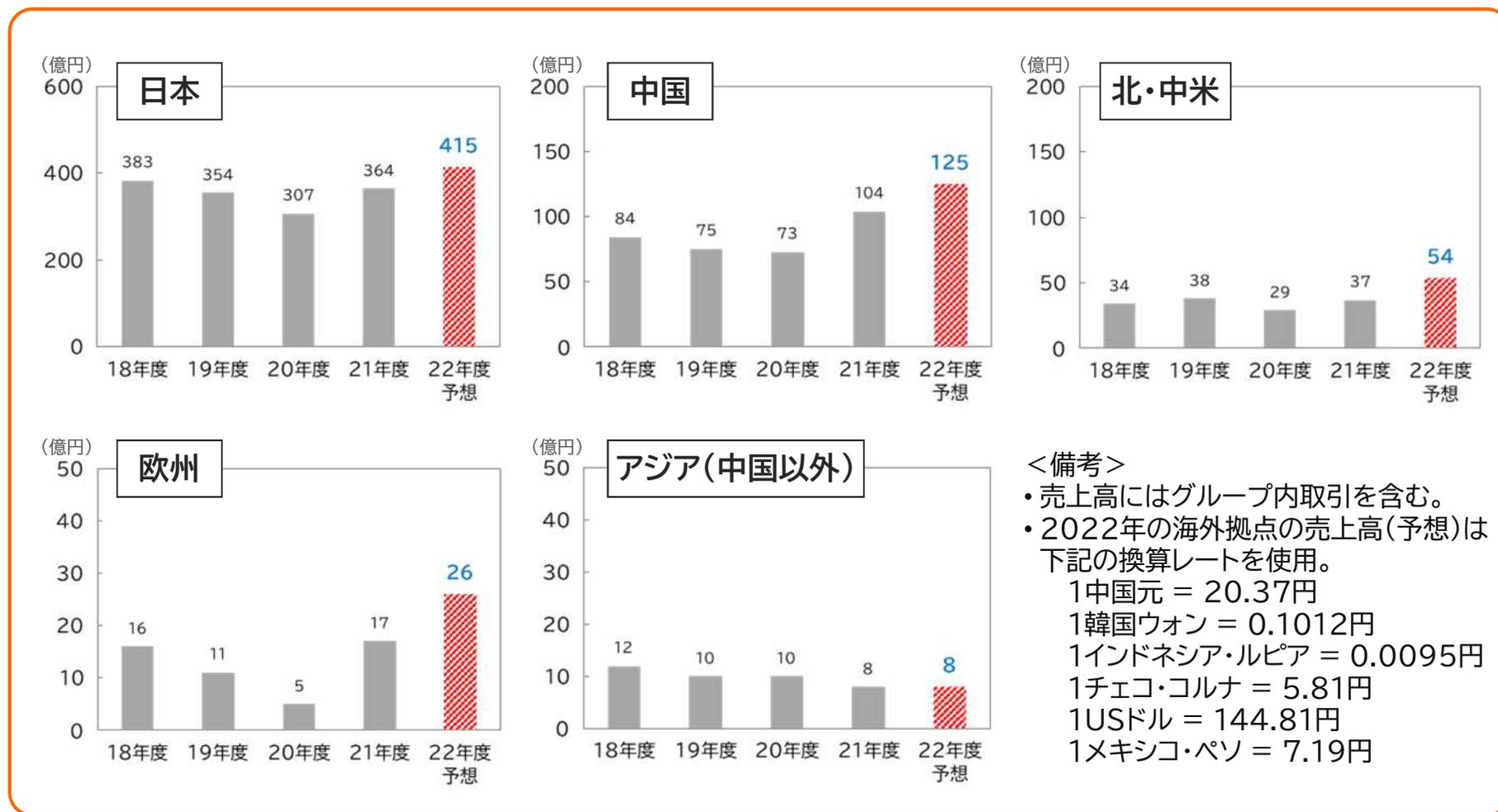
- 営業CF: 業績悪化により前年同期比減少
- 投資CF: 投資有価証券の売却収入が減少により前年同期比減少
- 財務CF: 自己株式取得などにより前年同期比減少

(単位:百万円)

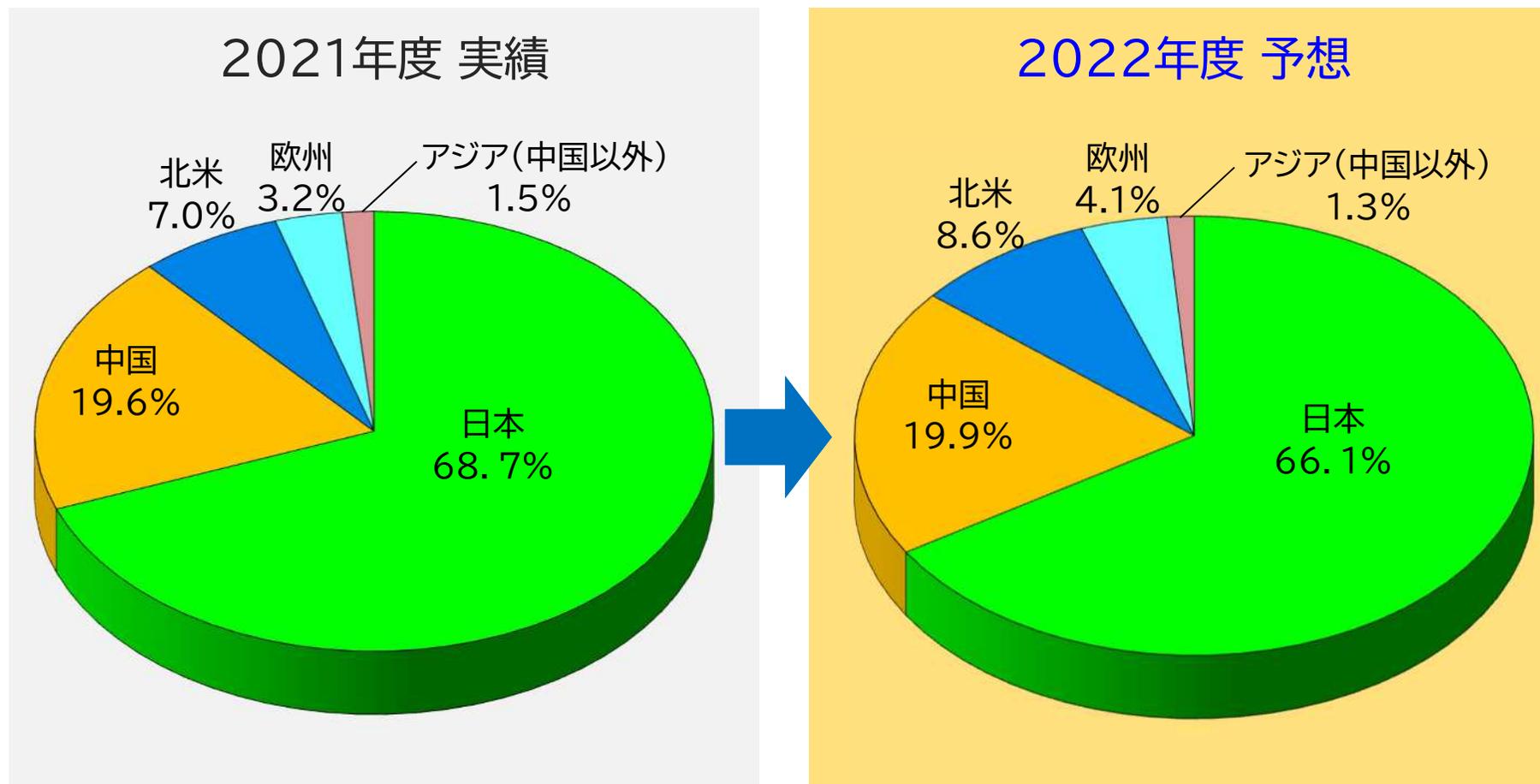
科 目	2021年度 上期末	2022年度 上期末	増 減
税金等調整前当期純利益	2,215	2,045	▲170
減価償却費	1,431	1,363	▲68
売上債権の増減	1,340	1,357	17
仕入債務の増減	277	▲426	▲703
その他	▲1,720	▲2,509	▲788
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,544	1,830	▲1,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲253	▲904	▲651
フリーキャッシュ・フロー	3,290	926	▲2,364
借入金	▲431	▲385	45
自己株式の取得	▲0	▲1,028	▲1,029
配当金の支払額	▲358	▲678	▲319
その他	▲294	▲524	▲230
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,084	▲2,617	▲1,532
キャッシュ・フロー期末残高	15,734	17,116	1,382

9. 地域別売上高の推移①

- 中国、北・中米、欧州において、販売量増、コスト増分の販価改定、為替影響により増加を見込む



10. 地域別売上高の推移②

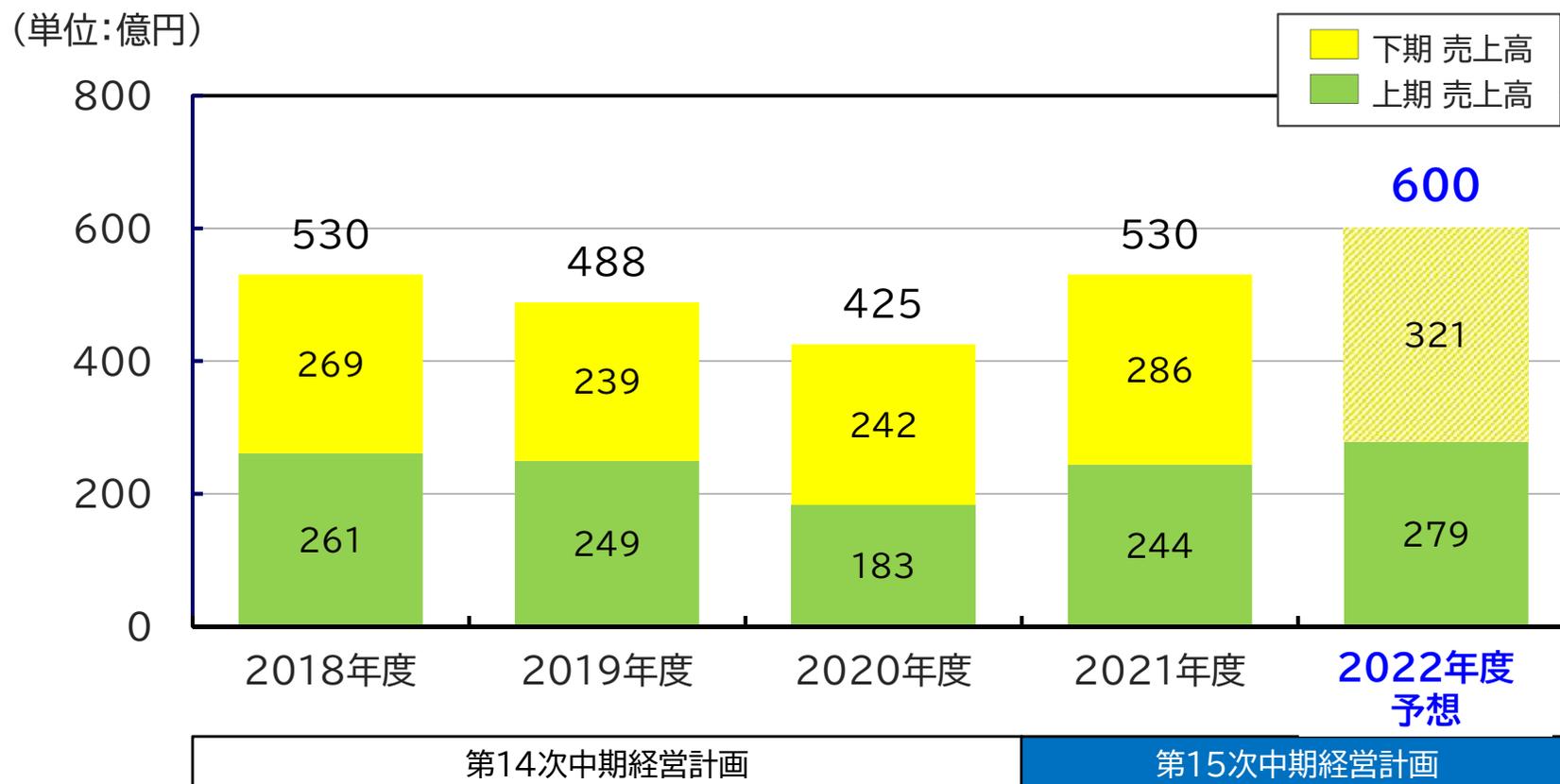


-
- I. 2022年度 第2四半期 決算の概要
 - II. 経営実績の推移**
 - III. 第15次中期経営計画の進捗
 - IV. 成長戦略



11. 連結売上高の推移

- 22年度通期は、下期からの自動車の受注回復を見込むとともに、販価改定活動、為替影響により、前期比13.2%増収の600億円を見込む

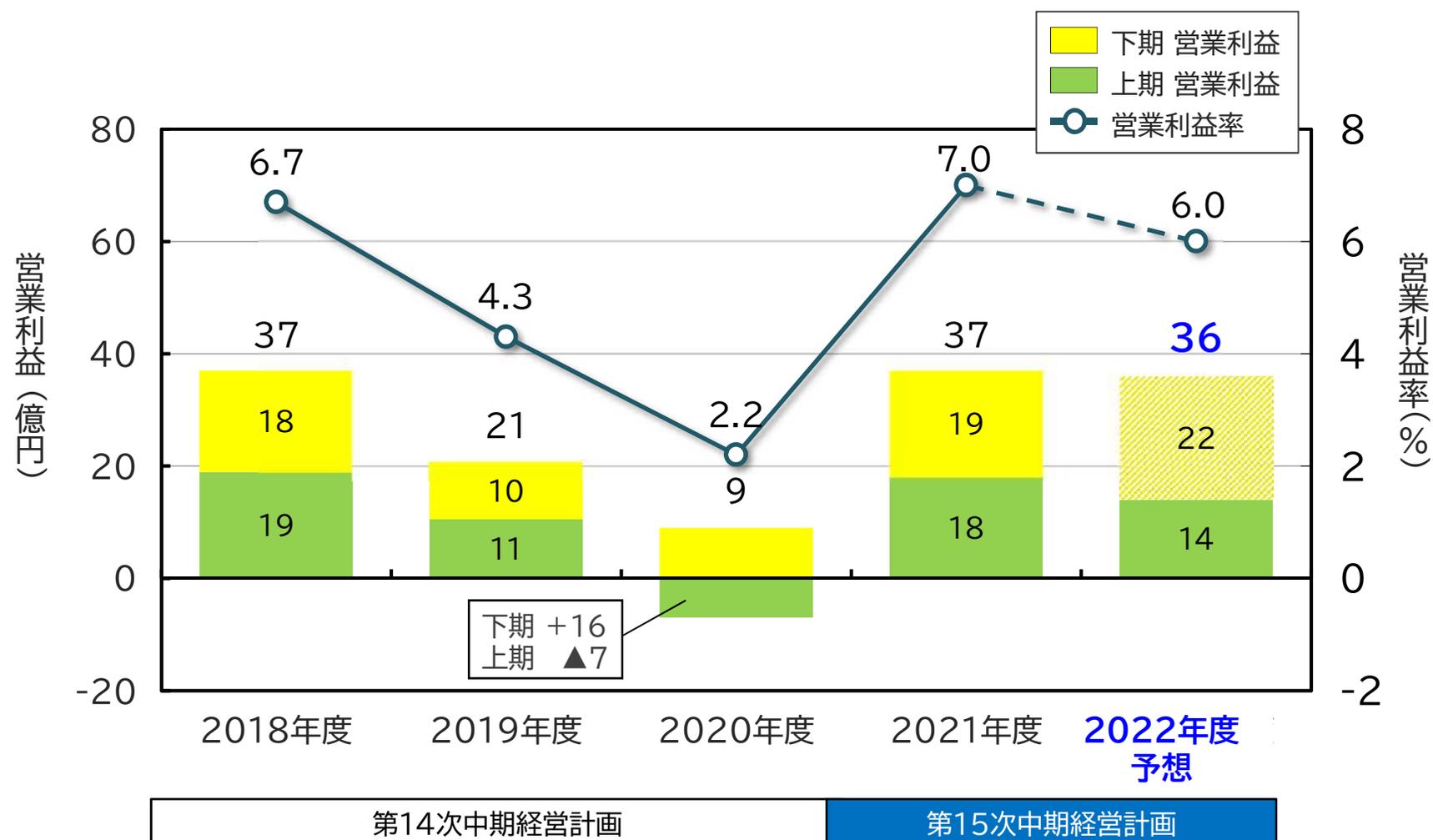


【換算レート】

- 2021年度 1中国元=18.06円、1USドル=115.02円
- 2022年度 1中国元=20.37円、1USドル=144.81円

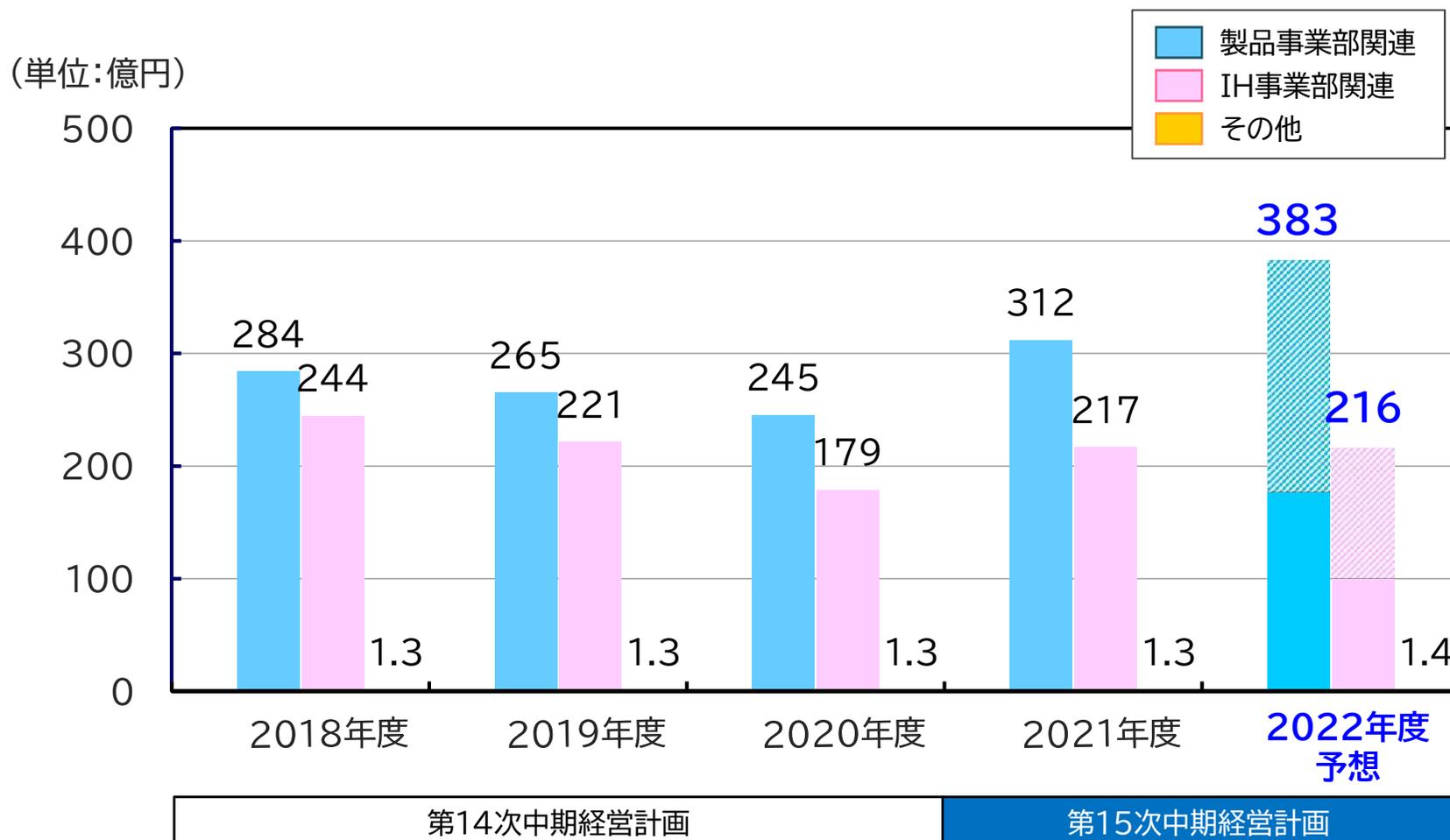
12. 営業利益・営業利益率の推移

- 22年度通期は、下期からの自動車の受注回復による増収効果、鋼材等のコスト増分の転嫁による業績の持ち直しを見込む



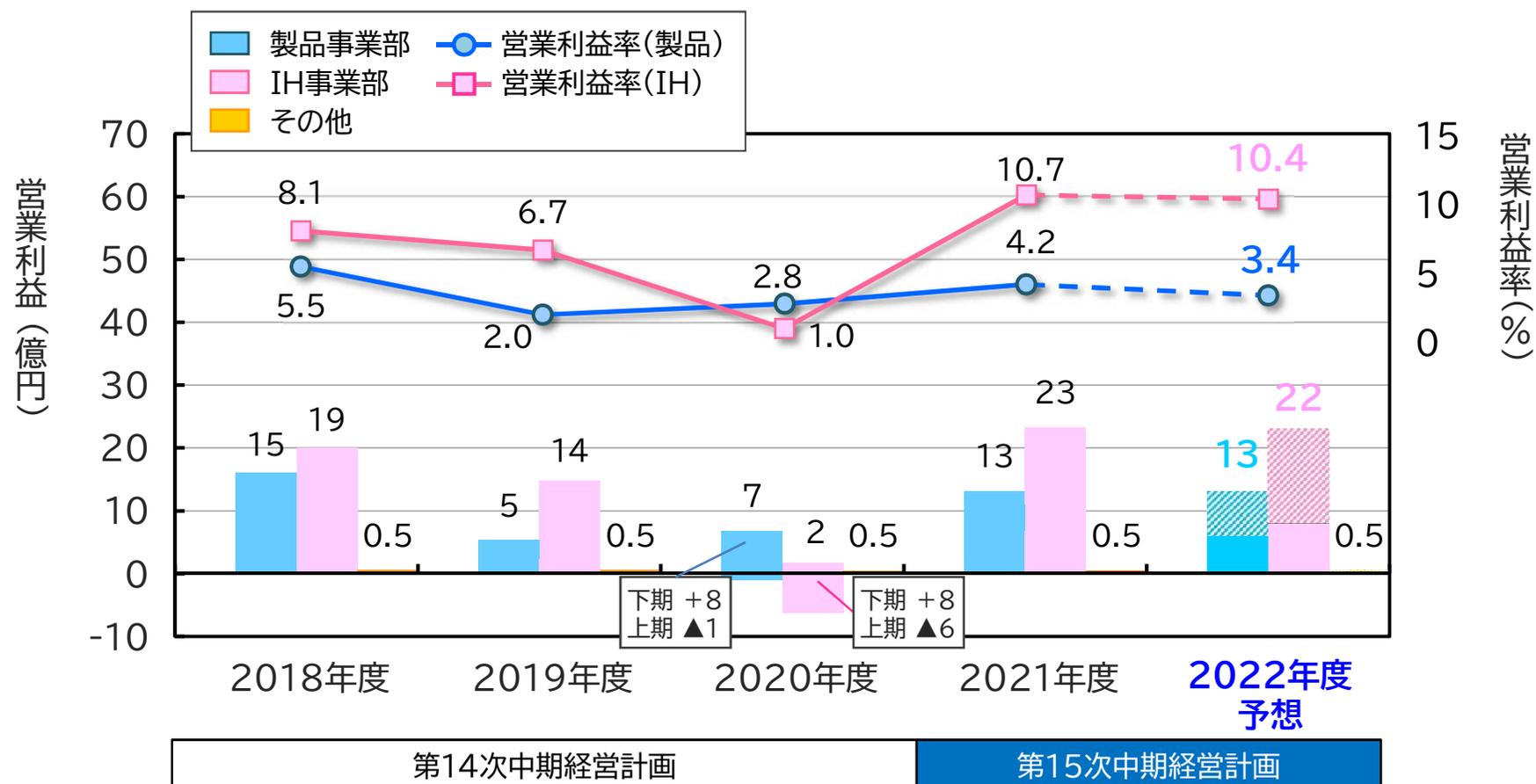
13. セグメント情報(連結売上高)

- 製品事業部関連: 下期も販売量増、販価改定活動、為替影響により、通期は22.8%増を見込む
- IH事業部関連 : 下期は自動車向けの需要回復により、通期は前期並みを見込む



14. セグメント情報(営業利益・営業利益率)

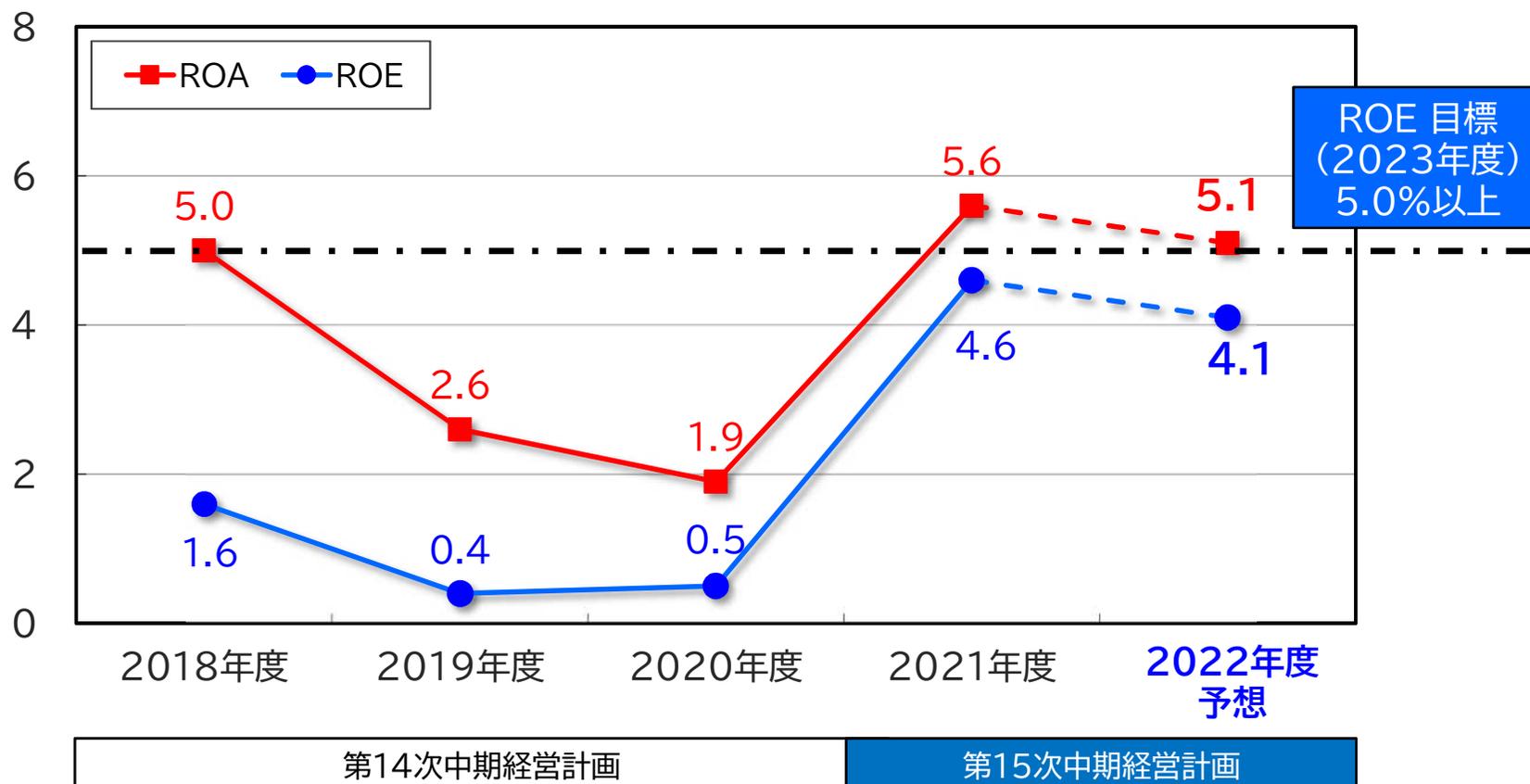
- 製品事業部関連:下期も引き続き鋼材コスト増分の価格転嫁を進めるも、建築関連の販価改定遅れが影響し、通期は前年度並みを見込む
- IH事業部関連 :下期は自動車向けの受注回復により、通期は前期並みを見込む



15. ROE・ROAの推移

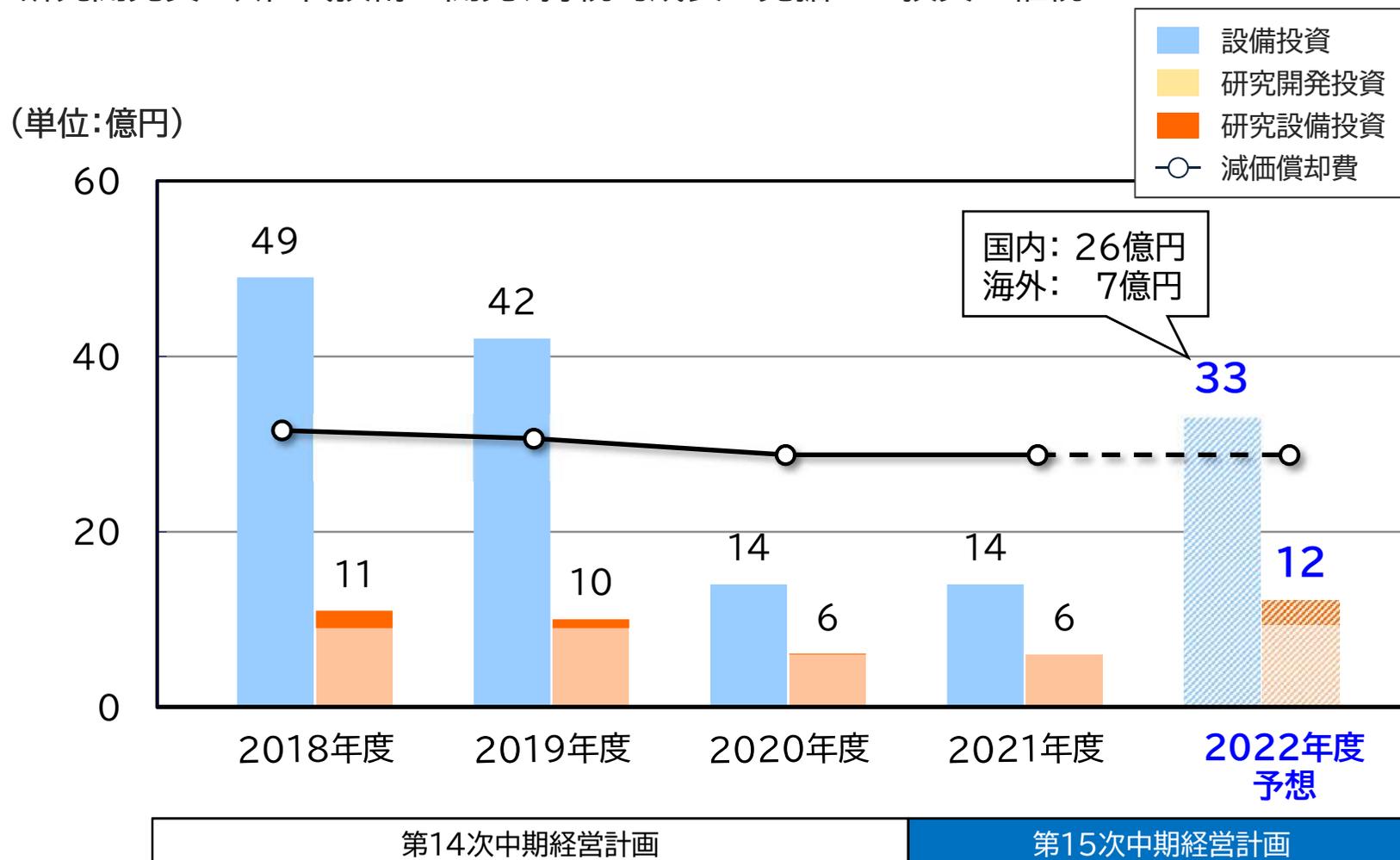
- 22年度は、前期比減益予想のため、ROE 4.1%、ROA 5.1% を見込む

(単位:%)



16. 設備投資・研究開発費・減価償却費の推移

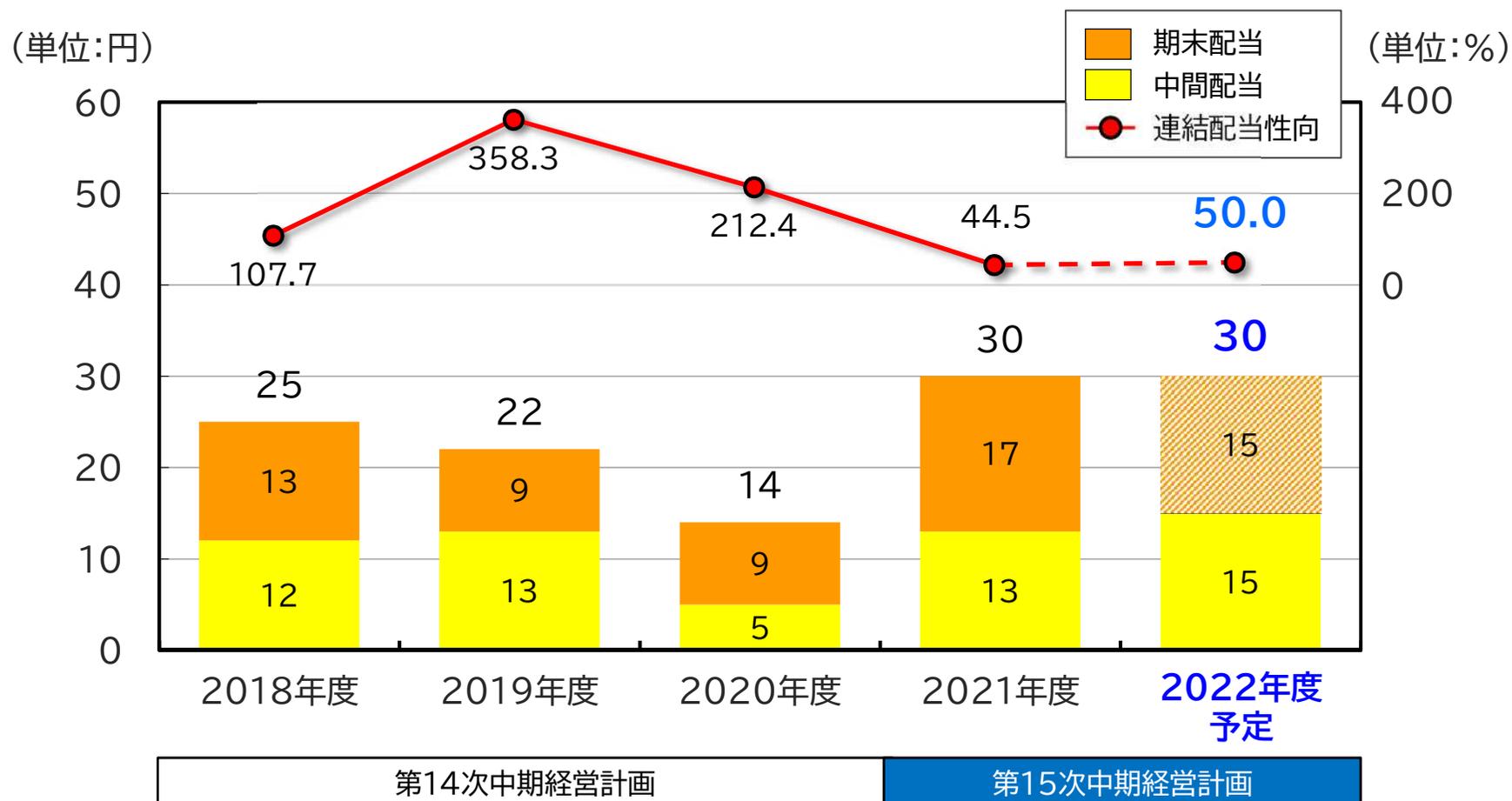
- 設備投資: 22年度より成長分野を中心に積極的な投資を実施
- 研究開発費: 次世代技術の開発、持続的成長を見据えた投資を継続



17. 配当の推移

基本方針

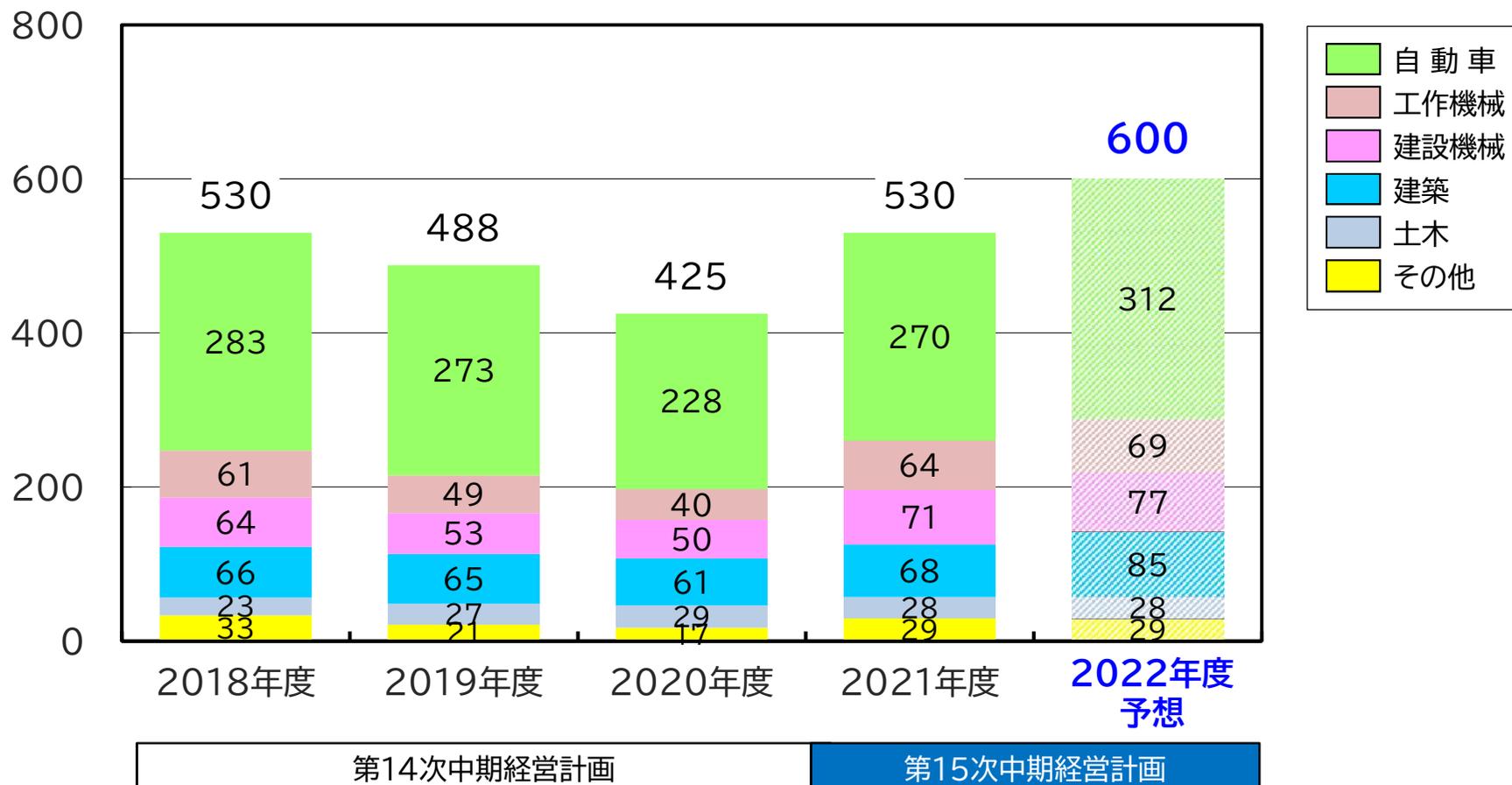
- 安定した配当:自己資本配当率(DOE) 1.5%を下限
- 業績に応じた利益配分:連結配当性向40%以上



18. 業界別売上高の推移

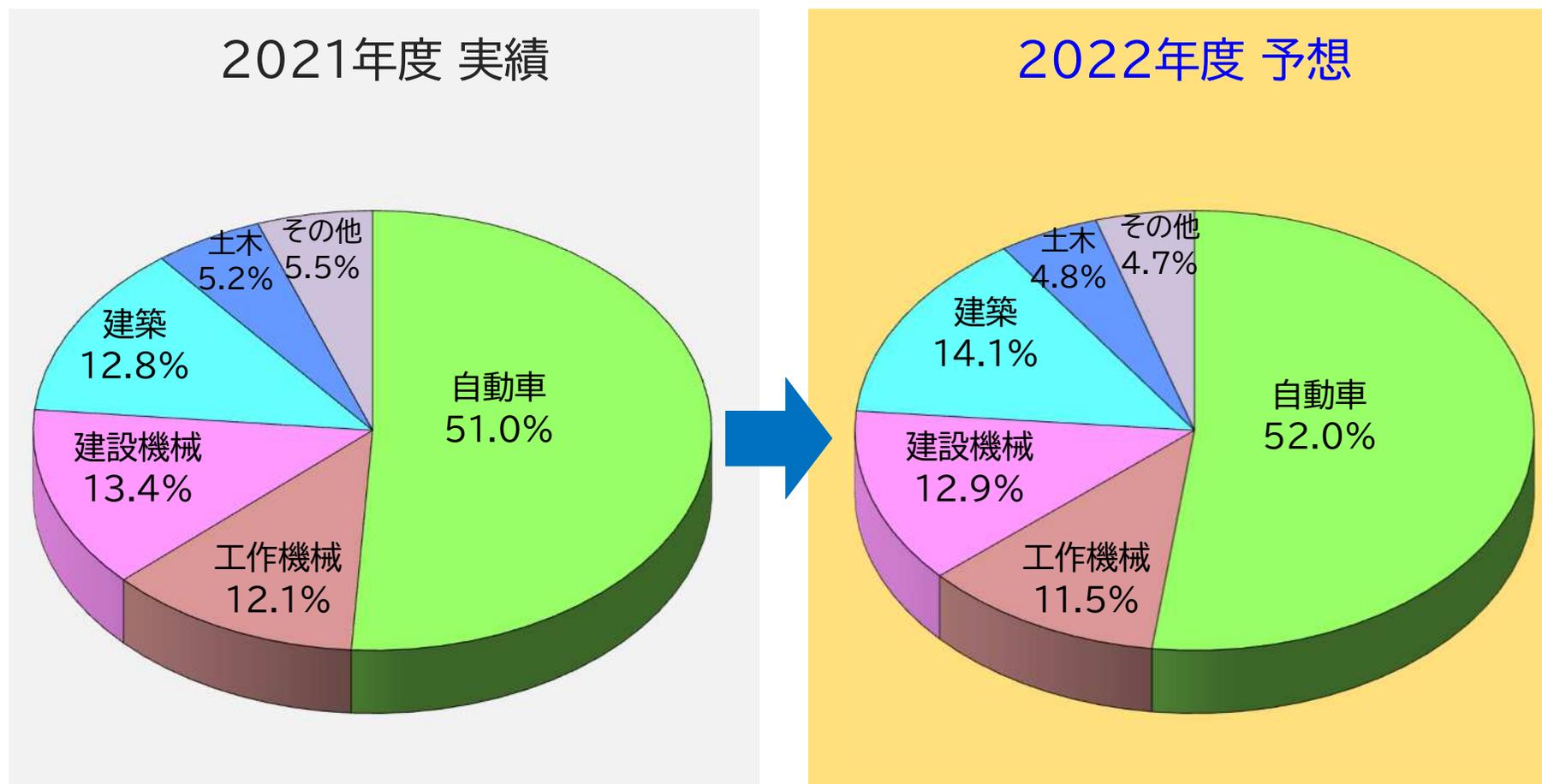
- 土木を除く業界向けの売上が増加する見込み
- 海外のITW®、建築用の異形PC鋼棒、高強度せん断補強筋が増加し、自動車、建築向けが増加する見込み

(単位:億円)



19. 業界別売上高比率

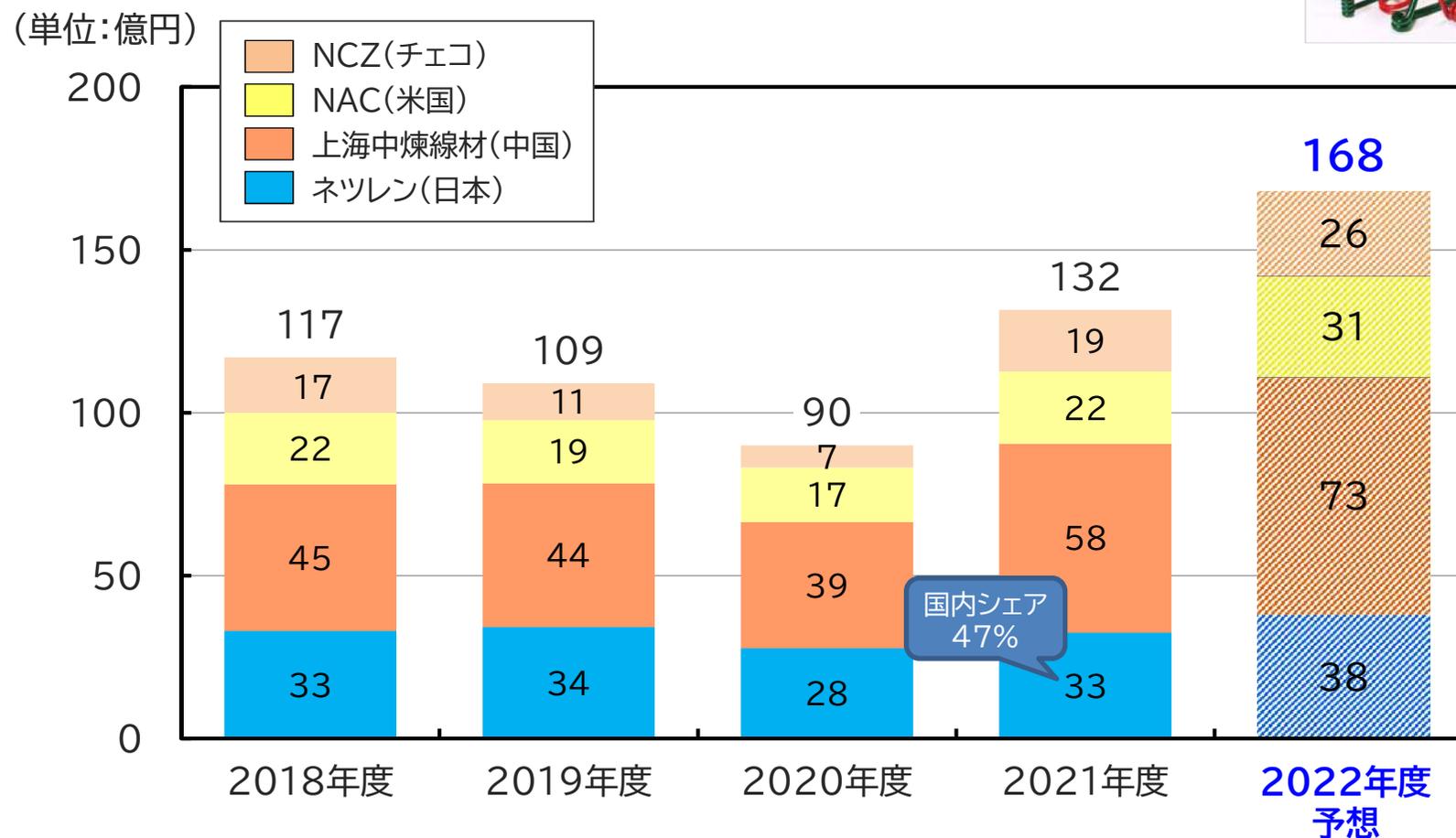
- 自動車、建築向けの売上が大きく増加し、相対的に工作機械、建設機械、土木の比率が減少する見込み



20. 高強度ばね鋼線(ITW®) 売上高の推移

製品事業部関連

- 半導体不足、ウクライナ情勢、中国のゼロコロナ政策の影響を受けるも、下期は海外を中心に販売量増。為替影響、販価改定もあり、増収を見込む



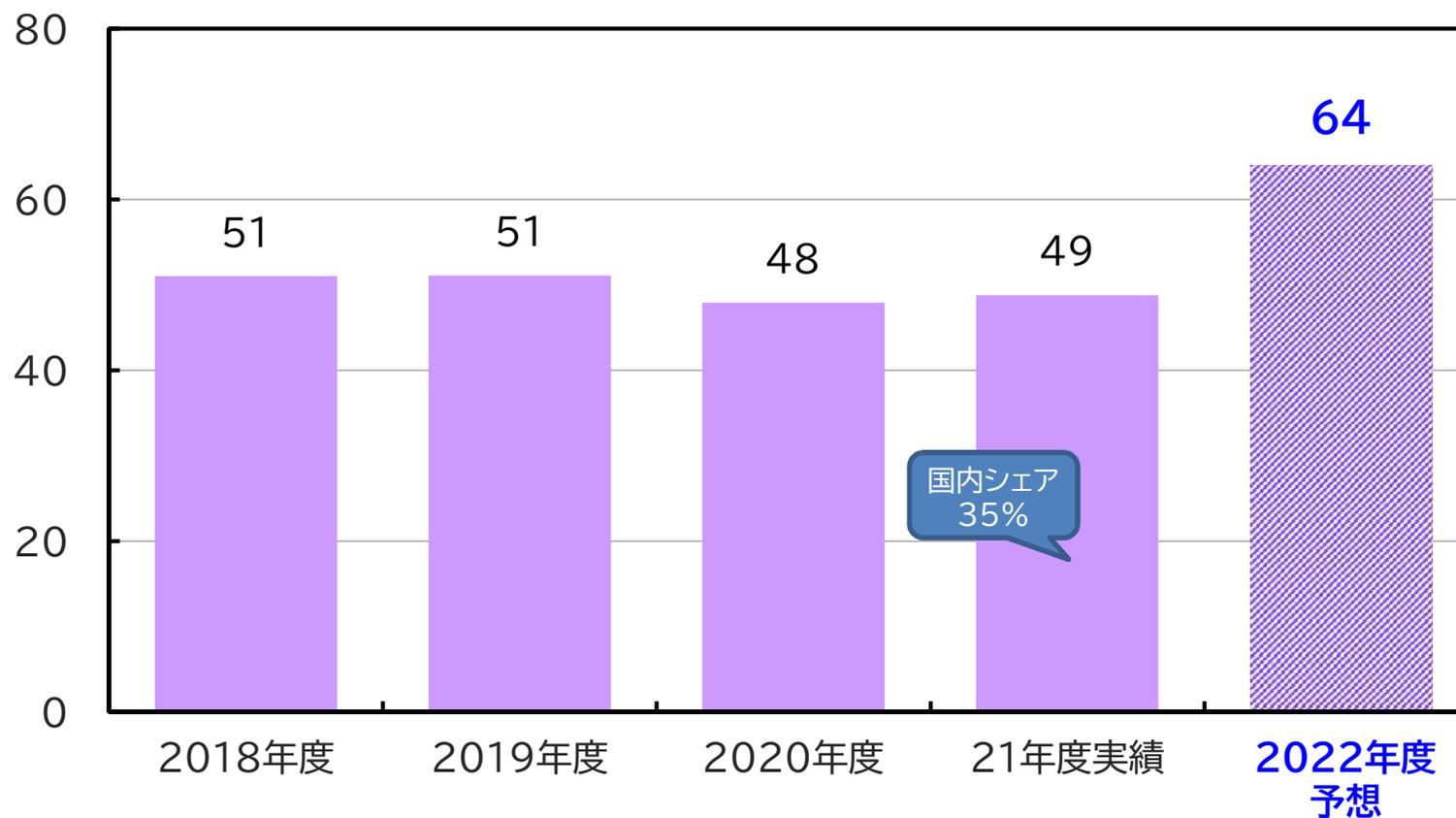
21. PC鋼棒・異形PC鋼棒 売上高の推移

製品事業部関連

- 販売改定の影響、スポット受注により増収を見込む



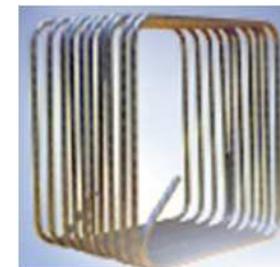
(単位:億円)



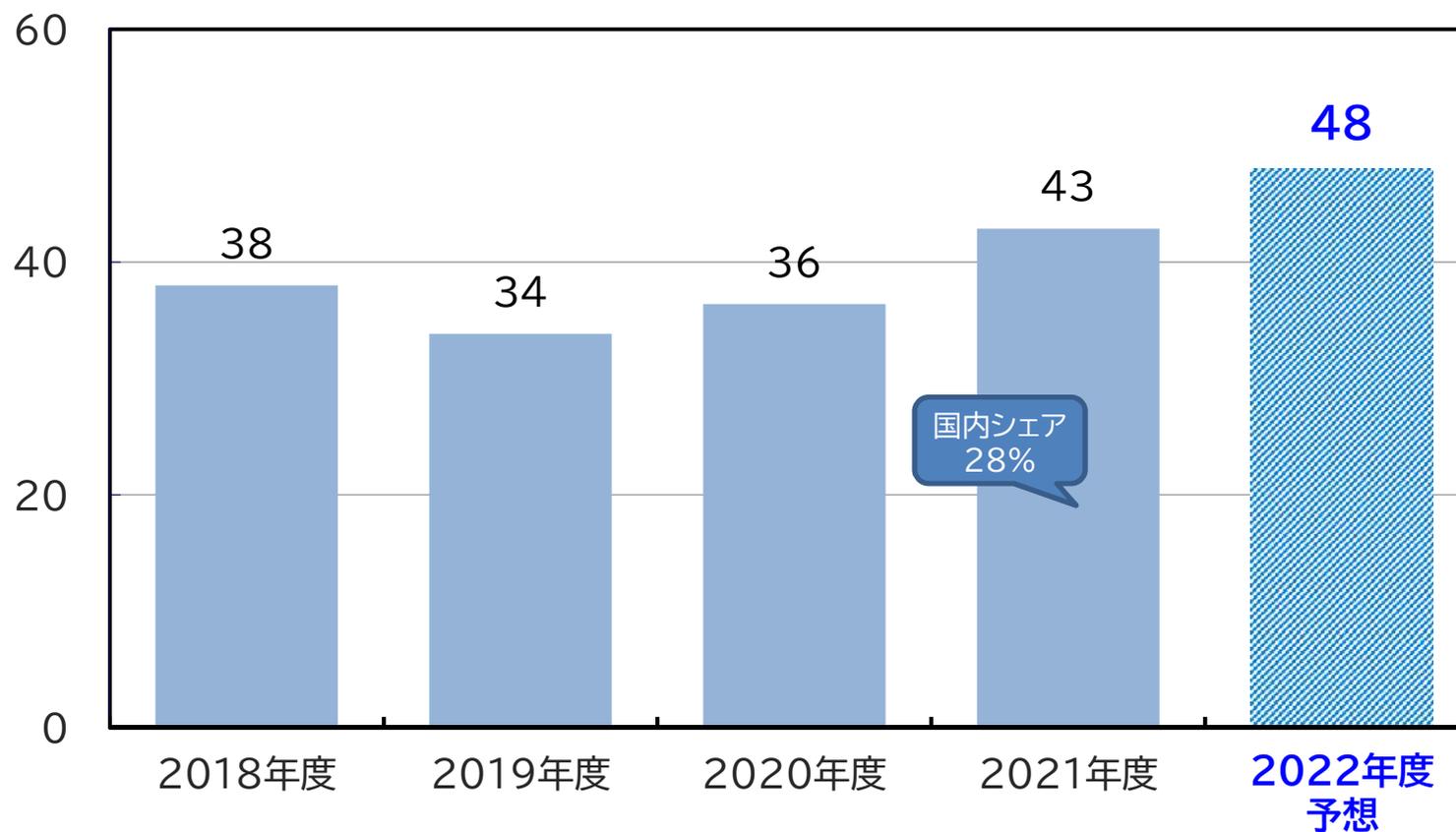
22. 高強度せん断補強筋 売上高の推移

製品事業部関連

- 顧客でメリットを出せるカットオフ工法の設計織込を積極的に実施。
上期に汎用設計ソフトへの搭載・リリース、下期より活用を開始、更なる増収を見込む



(単位:億円)



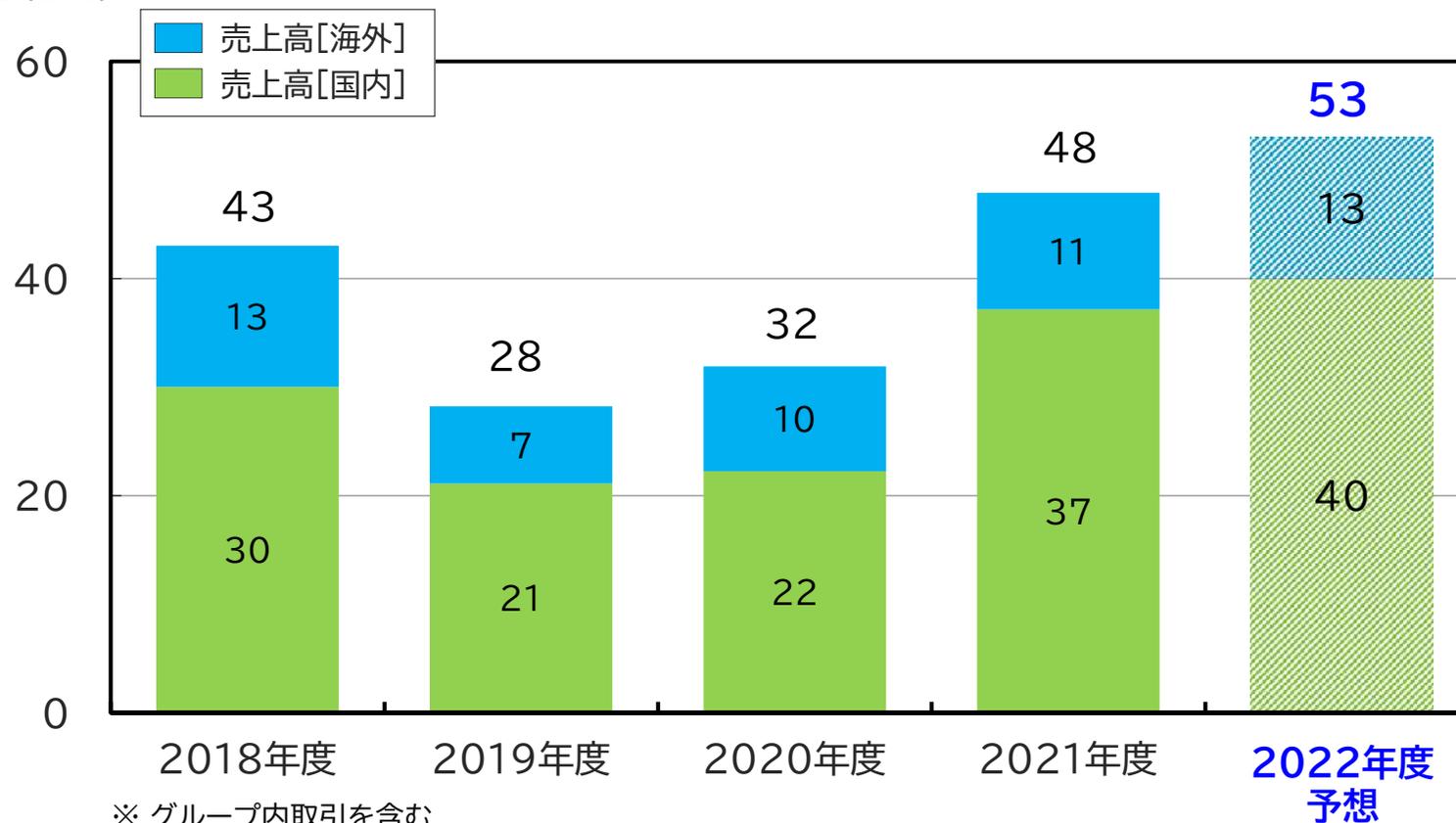
23. 旋回輪(建設機械部品) 売上高の推移

製品事業部関連

- 中国国内を除く地域(特に東南アジア、ブラジル、北米)で堅調な需要が継続



(単位:億円)



24. 誘導加熱装置・サービス 売上高の推移

IH事業部関連

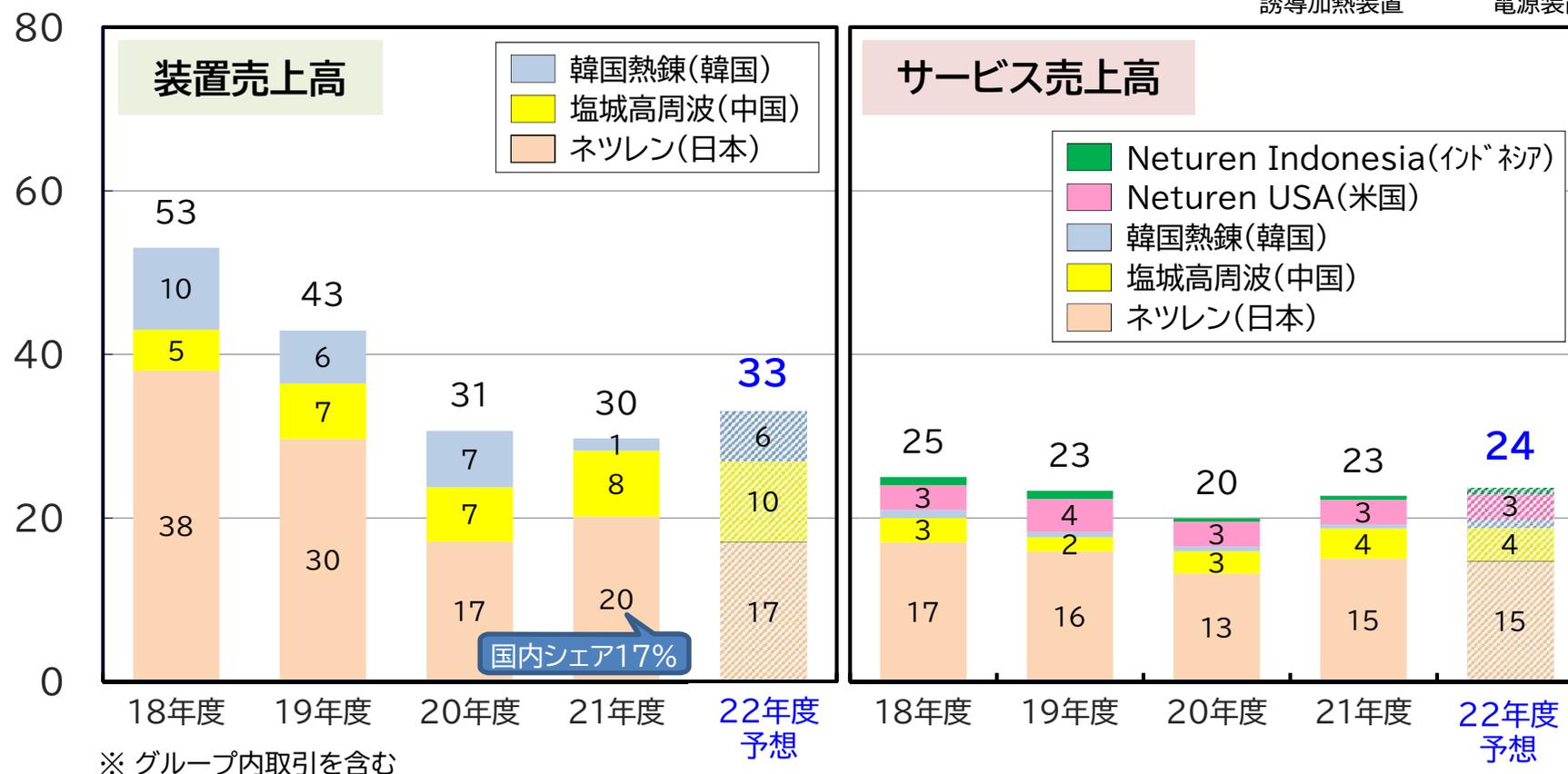
- 国内・海外ともに受注堅調、中国での売上増加と韓国の売上回復により増加する見込み。旧式電源からの更新に向けた営業活動と合わせて、サービス受注にも注力



誘導加熱装置

電源装置

(単位:億円)



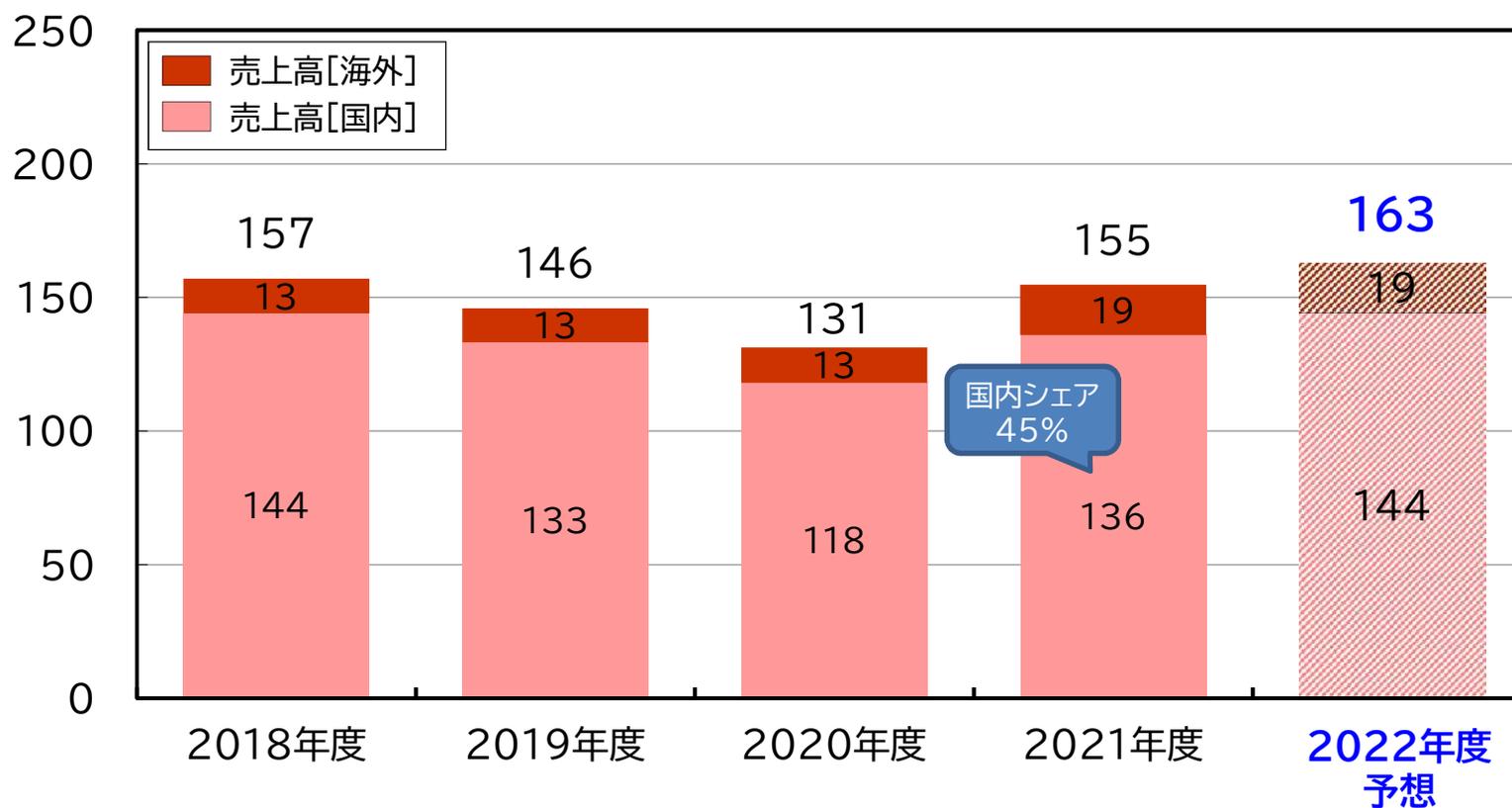
25. 熱処理受託加工 売上高の推移

IH事業部関連

- 建設機械・工作機械向けは堅調に推移、下期は建機関係大型部品のスポット受注で売上増を見込む。自動車向けは下期からの受注回復を見込む



(単位:億円)



-
- I. 2022年度 第2四半期 決算の概要
 - II. 経営実績の推移
 - III. 第15次中期経営計画の進捗**
 - IV. 成長戦略



26. 第15次中期経営計画の進捗①

基本方針

「NETUREN VISION 2030 (進化と躍進)」の達成に向けた第一フェーズとして「持続可能な社会づくりへの貢献」と「企業価値向上」を目指す

第1の戦略	コア事業の更なる競争力強化、 新技術・新商品・新事業の市場投入で 収益基盤を確立
第2の戦略	N-DX体制 でデジタル化を促進し 情報展開力を向上 させ、 3年後の完全運用を目指す
第3の戦略	SDGsを経営の中心に据え、 CO ₂ 削減を推進し 持続可能な社会づくりに貢献
第4の戦略	グローバル にグループ営業力、 マーケティング力の強化を担う 人財の輩出

主要経営指標 (連結)	2021年度 実績	2022年度 予想	2023年度 目標
売上高	530 億円	600 億円	560 億円
営業利益	37 億円	36 億円	40 億円
営業利益率	7.0%	6.0%	7.1%
ROE(自己資本当期純利益率)	4.6%	4.1%	5.0%以上
ROA(総資産経常利益率)	5.6%	5.1%	5.5%以上

27. 第15次中期経営計画の進捗②

第1の戦略:コア事業の更なる競争力強化、新技術・新商品・新事業の市場投入で収益基盤を確立

項目	2022年度上期の取り組み・成果
製品事業部関連	①既存コア事業の競争力強化 ・カットオフ工法算定式の設計ソフト搭載完了（高強度せん断補強筋） ・NETUREN AMERICAの第1次増設完了 ②付加価値向上・適用領域の拡大 ・プレグラウトPC鋼棒の量産・施工性の改善（PC鋼棒）
IH事業部関連 (熱処理受託加工)	①自動化・IoT化の推進による労働生産性の改善 ②新規製品(EV関連):新規4車種の量産開始
IH事業部関連 (誘導加熱装置・サービス)	①新型電源(FPGA搭載)の拡販……旧型からの置換75%達成 ②半導体製造装置の拡販……前年比200%の販売を計画 ③定額サブスク販売の開始、認知度向上に向け、WEB展示会にてPR

第2の戦略:N-DX体制でデジタル化を促進し情報展開力を向上

項目	2022年度上期の進捗
経営の舵取りのスピードアップ	現業業務の刷新を図るべく業務フローの分析実施、Afterフローを策定開始
客先情報の一元管理	SFA(営業支援システム)の活用を開始、営業スタイルの革新に向けた活動中
データの収集とデジタル技術の活用	現場力向上に向けた各拠点でのICT化をはじめとした基盤づくりを実施中 (可児NH、赤穂、いわき工場でICT化実施済)

28. 第15次中期経営計画の進捗③

第3の戦略:CO₂削減を推進し、持続可能な社会づくりに貢献

2022年度の主な施策

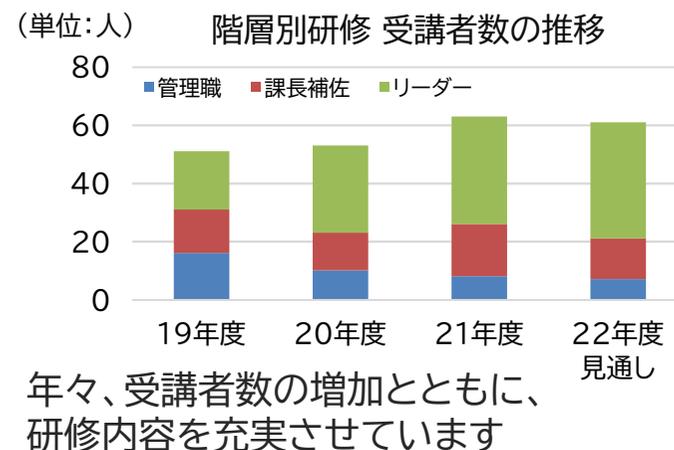
- 省エネ・高効率稼働の設備への更新
- 物流エネルギーの削減
- 年度末に、太陽光発電システムを2拠点(尼崎・神戸)へ導入、次期拠点の検討開始



第4の戦略:グローバルにグループ営業力、マーケティング力の強化を担う人財輩出

2022年度の主な施策

技能人財の育成	<ul style="list-style-type: none"> • スキルマップの整備・活用推進 • 階層別研修、技術テーマ研修
多様な働き方の実現	<ul style="list-style-type: none"> • 在宅勤務の浸透・定着 • 産後パパ育休運用開始
ダイバーシティの実現	<ul style="list-style-type: none"> • 女性管理職育成の個人別キャリア開発方針の作成 • セミナーの開催、社内広報誌における特集企画

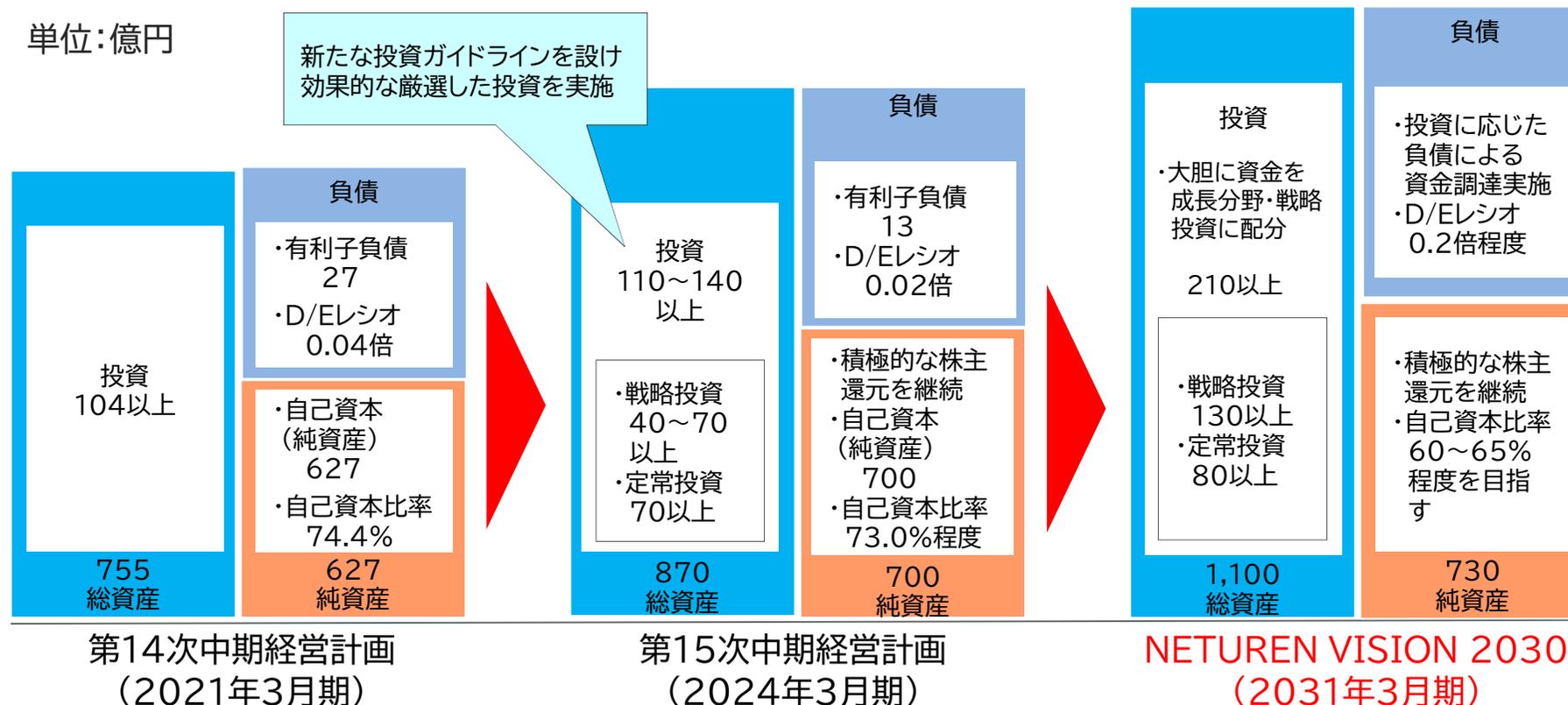


29. 第15次中期経営計画の進捗④ 目指すべきバランスシート

将来的な 目標BS像

- 持続的な企業価値向上を目指し、事業リスクを勘案しつつ、大胆に資金を成長分野、戦略投資に配分
- 事業ポートフォリオ見直しによる資産効率の改善
- 財務の健全性および資本効率のバランスを配慮し、純資産、自己資本をコントロールしながらVISION2030に向けた目指すべきバランスシートを実現

単位:億円



30. 第15次中期経営計画の進捗⑤ キャピタルアロケーション

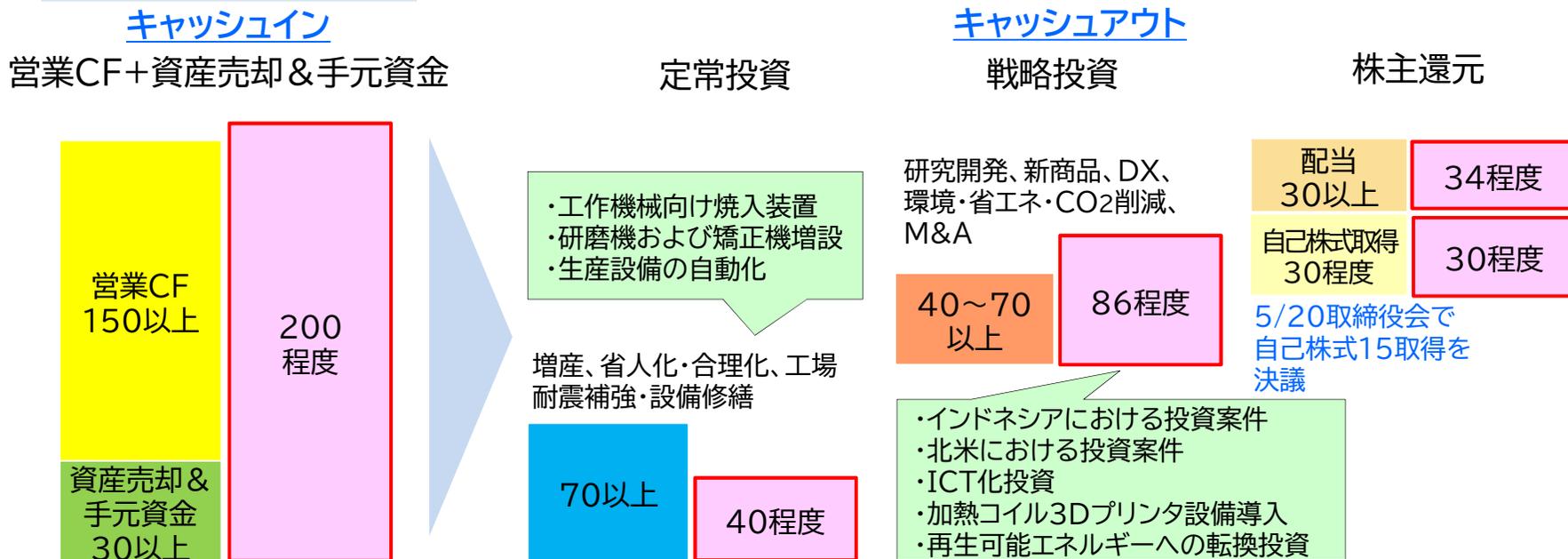
基本方針

- 財務の健全性を確保しつつ、バランスシートの改善を実施(WACC・ROEの改善)
- 営業CFおよび資産売却で得た資金を将来の成長に向けた戦略・成長分野に積極的に投資
- 短期および中長期的な成長に伴う利益拡大に対しては、更なる株主還元(配当・自己株式取得)を実施

第15次中期経営計画

= 2022年9月30日現在予想額

単位:億円



※資産売却には、政策保有株式売却を含む
 ※必要に応じ負債による調達(デッド)も活用

※配当は、連結配当性向40%以上
 下限はDOE1.5%

31. 第15次中期経営計画の進捗⑥

積極的なIR活動への取り組み

No.	IR活動の内容
1	TV東京の番組「知られざるガリバー」出演(2022年6月)
2	ファクトシート(ユーロランド社)を発行(2022年6月)
3	「TIME Magazine Asia Edition」への記事掲載(2022年10月)
4	「Newsweek」への記事掲載(2022年12月予定)



TV東京の番組
「知られざるガリバー」出演

社会貢献への取り組み

環境・教育・文化関連

- 地域住民との交流促進
⇒刈谷工場見学会(2022年6月)
- 地域社会のスポーツ振興支援
⇒「いわきFC」協賛(2022年7月)
- 紛争・災害地域への医療等支援
⇒日本赤十字社寄付(2022年8月)

学術・研究関連

- 日本熱処理技術協会より、各賞を受賞
【受賞内容】(2022年5月)
①熱処理技術・学術の発展に貢献
⇒技術功労賞(林賞)
②熱処理技術者の教育等に精励
⇒技術精励賞

-
- I. 2022年度 第2四半期 決算の概要
 - II. 経営実績の推移
 - III. 第15次中期経営計画の進捗
 - IV. 成長戦略**



32. 成長戦略① ITW®のグローバル展開

製品事業部関連

軽量化、EV化に貢献するITW®のグローバル拡販を推進

- EV化が進む中、軽量化に貢献する高強度ばね鋼線ITW®の需要は大幅増、太径ITW®を武器に、各地域の新規顧客を開拓、自動車以外の用途への拡販により、**グローバルで着実な成長を目指す**



地域	主な進捗
日本	<ul style="list-style-type: none"> ● マザー工場として各拠点を支援(人、設備、技術) ● 上期より新規冷間化の顧客への納入開始 ● その他顧客の熱間から冷間への動きに対応中
中国	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナロックダウンの影響を上海、重慶で相互カバー ● 生産性改善により、上海で過去最大の単月生産量を記録
北米	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1次増設完了・量産稼働開始 ● 第2次増設を対応中 【生産能力 40%増、太径ITW® も対応可能】
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 欧州新規顧客への納入が順調に拡大中、新規モデルへの搭載に向けた拡販を強化 ● 更なる認知度向上を目的とし、展示会出展を検討

太径ITW®



太径ITW®によるEV用サスペンションばね (線径:17.2mm)

従来のITW®による標準的サスペンションばね (線径:13.1mm)



増設中の設備



33. 成長戦略② グローバル事業の拡大

市場に対応し、海外拠点の熱処理受託加工の生産体制を強化

- 当社の高い技術力、品質保証力を背景に、自動車用軸受部品を中心とした熱処理受託加工への引合い・受注増加



アセアン (NETUREN INDONESIA)



- 2021年10月より、自動車用軸受部品の熱処理受託加工量産開始
- 2022年5月、23年量産開始の新規5品番を受注。約3億円の増資を実施、年末より増産対応設備の設置開始

中米 (NETUREN MEXICO)



- 2022年8月より、新規車種の量産開始
- 2023年8月より、新規1車種の量産追加に向け、量産品質確認イベント開始

北米 (NETUREN AMERICA)



- 2018年下期より、自動車用軸受部品の熱処理受託加工事業を開始、受注車種が好調
- 既存車種の増産、新規自動車メーカー向け、その他部品への引合いあり、増産投資を検討中

34. 成長戦略③ 定額サブスク販売

サブスクリプションによる新たな販売形態を構築

- 最新型の高周波誘導加熱設備およびアフターサービスをセットにしたサブスクリプション(毎月定額)販売を開始。新たな販売形態構築により顧客需要を的確に把握し、更なる顧客満足度向上を図る



導入目的

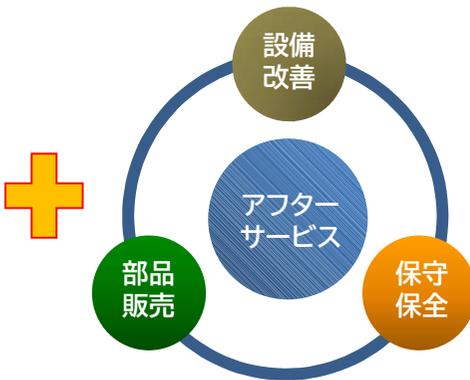
- 新たな販売形態構築により新たな顧客ニーズに対応
- 顧客との接触機会を増加させ、容易に困りごと相談ができる環境づくりを目指す

定額販売内容

「高周波誘導加熱設備」+「アフターサービス」のパッケージで定額販売

高周波誘導加熱設備

- 設備輸送
- 据付工事
- 熱処理条件設定



アフターサービス

- 年次点検
- コイル修理
- 水系統洗浄
- 故障時の修理費用割引
- 焼入液の定期冷却能力測定

35. 成長戦略④ 高周波焼入れシミュレーション

研究開発

高周波焼入れシミュレーションにおける新手法を開発

- コンピューターを用いた高周波焼入れシミュレーションは、試作なしの事前検討が可能であり、開発期間・工数・費用低減でお客様より評価



新手法の開発

- 従来手法: 磁場+熱処理の連成解析
- 新手法: 磁場+熱流体+熱処理の連成解析

本手法により、冷却剤の流れによる冷却度合いを考慮したシミュレーションを実現

熱処理品質(硬さ、変形量等)の予測精度がさらに向上することで、試作工数削減、開発期間が30%短縮し、お客様の要望に、よりスピーディ・高精度に対応が可能



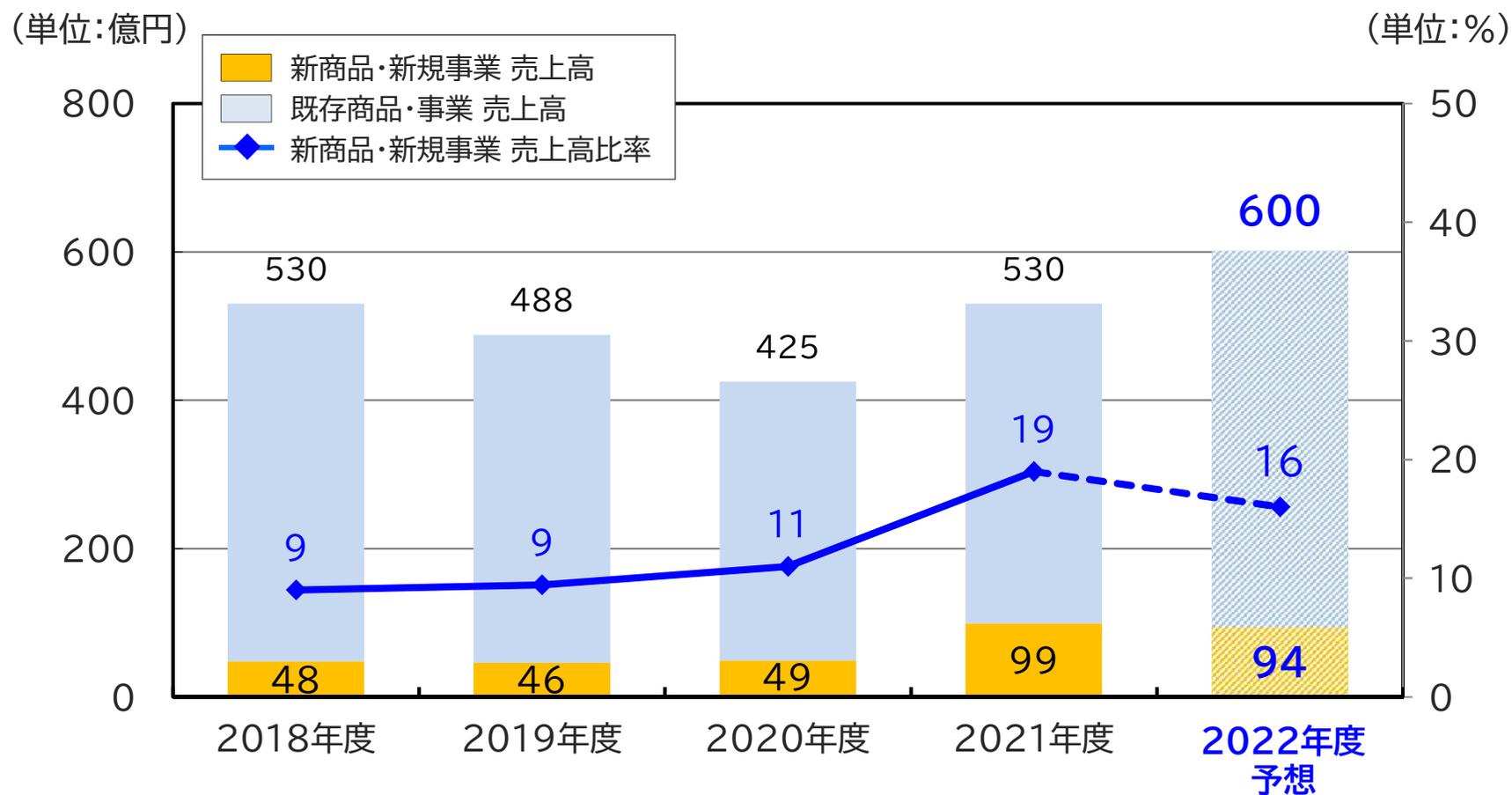
実際の高周波焼入れにおける冷却剤噴射状況



シミュレーションにおける冷却剤噴射状況

36. 新商品・新規事業の売上高推移

- ITW®(太径、中国新拠点、欧州・北米での新規顧客)、FPGA搭載の高周波電源の販売が好調
- グループ内のリソースを融合し、持続可能な社会づくりに貢献する次期型新商品の開発を推進



NETUREN VISION 2030

「進化と躍進」 2021.4~2031.3 [10年間]



◆あるべき姿

企業価値を高め続けるとともに
持続可能な社会づくりに貢献する

◆目指す姿

CO₂排出削減に有効なIH熱処理技術を核とする
技術・製品を通じ、企業価値を高めて
環境負荷を低減する

N-DXの展開を進め、
グループ全員の力を結集して
進化を続けグローバルに躍進する

第15次中期経営計画

2021.4~2024.3 [3年間]



事業の選択と集中

利益基盤の確立



N-DX体制でデジタル化した情報展開力向上

N-DX体制



SDGs

SDGsを経営の中心に据え、CO₂削減で持続可能な社会づくりに貢献



グローバル

グローバルにグループ営業力、マーケティング力の強化を担う人財の輩出



第15次中期経営計画 スローガン

Change!! New NETUREN 2023



(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。